



令和3年度  
みやの環境創造提案・実践事業  
活動内容

## みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 令和3年度は、前年度から継続して活動を行った2団体と、新たに応募のあった1団体、計3団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

## 《自由提案》

### 虫との暮らしを豊かに－虫に学ぶ生物多様性－

宇都宮共和大学 自然遊びの会バーベナ

「虫」のもつ魅力を自然体験等でわかちあい、自然保護の大切さを再認識すると同時に生物多様性の普及促進及び理解を深める

#### 主な活動内容

- ① 身近な生き物である「虫」を多角的に取り上げた教材類を作成し、「虫」と「ヒトの生活」を可視化する試みを行う
- ② 主催する自然体験行事内で上記を実施し、教材・プログラムの検証を行う



自然体験の様子



むしむしビンゴ



コニチールによる染色



虫くいをさがせ！

#### ◆活動の成果や感想◆

- ・「虫」に関するアンケートを実施し、その結果をもとに教材を作成し、自然体験等の活動のなかで教材・プログラムの検証を実施した。
- ・環境学習センターやNPO法人と共に行事を開催することができ、活動内容の質の深まりや参加者の幅が広がるといった良い効果を感じた。
- ・虫の世界を通して持続可能な自然に思いを馳せたり、興味関心をもって自身の生活に取り入れる様子が見られた。

## 《地域特性を踏まえた生物多様性保全の充実について》

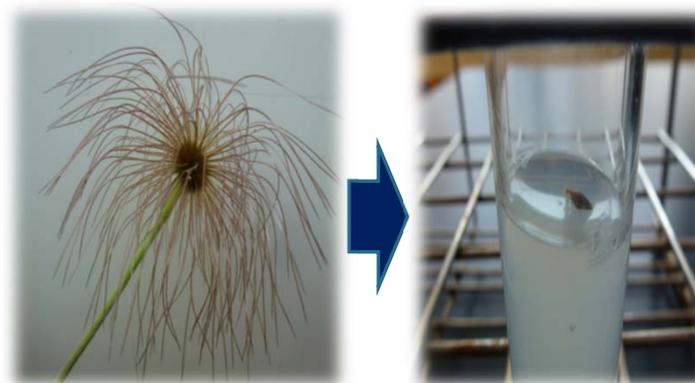
### 鬼怒川河川敷における生物多様性の保全活動

宇都宮白楊高等学校 生物工学部

鬼怒川の河川敷において、絶滅危惧種であるミヤコグサ・オキナグサ・カワラノギクを保全する

#### 主な活動内容

- ① 組織培養による大量増殖を行う
- ② 保全区に定植する
- ③ 保全区に定植したカワラノギクとミヤコグサの生育調査



オキナグサの無菌播種



カルス培養



組織培養による大量増殖

#### ◆活動の成果や感想◆

- ・オキナグサの組織培養において、カルス化・多芽体までの方法を確立し、増殖・育苗段階に移行できる道筋がついた。
- ・ミヤコグサとカワラノギクの保全活動を継続しつつ、来年度は増殖・育苗したオキナグサを保全区に定植する予定であり、生物多様性の保全に向けて、少しずつ前進している。



保全区での作業の様子

## 《自由提案》

# Take Heart「食で元気を取り戻す」 ～地場産品を活かした伝統食の継承と新しい活用～

宇都宮文星短期大学栄養ユニット

農作物の収穫と調理，加工，それらの応用食の展開と広報

### 主な活動内容

- ① 栃木県特産品の調理と応用
- ② 発酵食品の調理実習
- ③ ニラ・養鶏の演習



3週間後



養鶏の演習

### ◆活動の成果や感想◆

- ・食物を大切に思う心を育むことで「食品ロス」削減や「環境負荷」の少ない調理方法につながった。
- ・生産者，調理者，消費者などが協働することでロスの少ない食が形成される。
- ・新型コロナウイルスの影響で「広報」が十分に実施できなかった。他業種との連携，メディアの活用が重要である。



いちごジャムづくり体験



手作り味噌



ご当地タニタご飯  
コンテストに応募



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316